

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

改訂日: 2023/05/25 バージョン: 1.6

SDS 番号: 00359-1166



1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Asplit® CN Solution
製品コード : 592 0020, 592 0021, 592 0022, 592 0023

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : パテ

会社情報

製造業者

TIP TOP Oberflächenschutz Elbe GmbH
6886

ドイツ Wittenberg Heuweg 4

T +49(0)3491/635-50 - F +49(0)3491/635-552

SDS 担当の有資格者の電子メールアドレス: sds@gbk-ingelheim.de

輸入業者

REMA TIP TOP- Japan

日本 452-0821 Nagoya 338, Kamiotai 2- Chome, Nishi-ku

T +81 (0) 52 502 3500 - F +81 (0) 52 502 3620

www.tiptop-japan.co.jp

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : INTERNATIONAL: +49 (0) 6132 - 84463, GBK GmbH (24h - 7d/w - 365d/a)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分 4
健康有害性	急性毒性 (経口)	区分 3
	急性毒性 (経皮)	区分 4
	急性毒性 (吸入)	区分 4
	皮膚腐食性/刺激性	区分 1B
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 2
環境有害性	発がん性	区分 1B
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
	水生環境有害性(慢性)	区分 3

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠
SDS 番号: 00359-1166

危険有害性 (GHS JP)

: 可燃性液体 (H227)
飲み込むと有毒 (H301)
皮膚に接触した場合や吸入した場合は有害 (H312+H332)
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 (H314)
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ. (H317)
呼吸器への刺激のおそれ. (H335)
遺伝性疾患のおそれの疑い (H341)
発がんのおそれ (H350)
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
蒸気を吸入しないこと。(P260)
適切な保護手袋、保護服、保護眼鏡、顔面の保護を着用すること。(P280)
環境への放出を避けること。(P273)

応急措置

: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
(P308+P313)

保管

: 施錠して保管すること。(P405)

他の危険有害性

分類に寄与しないその他の危険有害性

: 蒸気は空気と爆発性混合物を形成する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

コメント

: 以下に言及される物質から生成され、危険でない添加剤を加えた混合物。

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
フェノール	≥ 5 - < 10	-	(3)-481	既存化学物質	108-95-2
N-(2-アミノエチル)-3-アミノプロピルトリメトキシシラン	≥ 0.1 - < 0.3	C8H22N2O3Si	(2)-2059,(2)-2083	12-660	1760-24-3
ホルムアルデヒド	≥ 0.5 - < 1	CH2O	(2)-482	2-(8)-379	50-00-0
2-フランカルボアルデヒド	≥ 25 - < 30	C5H4O2	(5)-40	既存化学物質	98-01-1

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: 汚染された衣類は直ちに脱ぐ。
症状が治まらない場合は医師に相談する。
被災者を汚染エリアから移動させる。

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1166

吸入した場合	: 事故の際に燃焼ガス、分解生成物あるいは粉塵を吸い込んだ場合は、新鮮な空気 の場所に連れて行く。 身体異常のある場合には、すぐに医師の手当てを受けてください。
皮膚に付着した場合	: 予防措置として、水と石鹼で洗浄する。 症状が継続する場合は医師に相談してください。
眼に入った場合	: まぶたの裏側も含め、直ちに多量の水で最低でも 15 分間洗眼すること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 水で口の中を注意深くすすぐこと。 水を大量に飲ませる。 意識不明状態の者には決して口から物を与えない。 直ちに医師の診察を受ける。 医師の診断なく、無理に吐かせない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 吸入すると有害。 呼吸器への刺激のおそれ。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 皮膚に接触すると有害。 重度の火傷を引き起こす。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
症状/損傷 眼に入った場合	: 重篤な眼の損傷。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 飲み込むと有毒。
慢性症状	: がんを引き起こすことがある。 遺伝性疾患のおそれの疑い。

医師に対する特別な注意事項

処置	: 対症的に治療すること。
----	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水溶性液体用泡消火薬剤、乾燥粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧
使ってはならない消火剤	: 多量のウォータージェット
火災危険性	: 燃えるが、難燃性。
爆発の危険	: 物質は爆発性ではない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 刺激性/腐食性、可燃性かつ有毒な乾留ガス、 炭素酸化物(CO、CO2)
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
消火時の保護具	: 火災時には外気に依存しない循環型の呼吸保護具を着用する。 防護服。
火災の予防策	: 水スプレージェットで危険にさらされた容器を冷却。
その他の情報	: 蒸気は空気より重く、床に沿って拡散することがある。 空の未洗浄の容器内でも、蒸気と空気の混合による起爆性がある。 火災残留物や汚染された消火水は当該地の規定に従って廃棄する。

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1166

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置

- : 蒸気が発生した場合は、適切な呼吸器を使用する。
- 十分な換気を確保する。
- 安全なエリアに人員を避難させる。
- 保護服を使用する。
- あらゆる発火源を取り除く。

非緊急対応者

応急処置

- : 漏出エリアを換気する。
- 皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

保護具

- : 適切な保護具を着用して作業する。
- 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

- : 排水溝/地上水/地下水に混入させないこと。
- 地下/地表に浸透させない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

- : 流出した液体は封じ込める。

浄化方法

- : 液体結合材で吸収(例: 砂、珪藻土、酸性または万能結合剤)。
- 廃棄するため、塵取りで清掃するか取り除き、密封された容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- : データなし

安全取扱注意事項

- : 容器をしっかりと閉じてください。
- 蒸気は空気より重く、床に沿って拡散することがある。
- 粉じんが発生する箇所に適切な排気装置を設置する。
- 発火源から遠ざけて保管する 禁煙。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

接触回避

- : データなし

保管

安全な保管条件

- : 容器は密封し、低温で乾燥した換気のよい場所に保管する。

安全な容器包装材料

- : データなし

混触禁止物質

- : 酸。

混合保管に関する情報

- : 動物用のものも含めて、食べ物や飲み物から離れた所に保存する。

8. ばく露防止及び保護措置

監視方法

- : 特定のばく露サンプリング法はありません

生物学的モニタリング法

- : 特定のばく露サンプリング法はありません

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1166

フェノール (108-95-2)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	フェノール # Phenol
許容濃度	19 mg/m ³
	5 ppm
特記事項 (JP)	経皮吸収; 生殖毒性分類 3
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
日本 - 生物学的ばく露指数 (日本産業衛生学会)	
BEI	250 mg/g クレアチニン 測定対象物質: 総フェノール (遊離体, グルクロン酸抱合体, 硫酸抱合体) - 測定対象試料: 尿 - 試料採取時期: 作業終了時
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
ホルムアルデヒド (50-00-0)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	ホルムアルデヒド # Formaldehyde
許容濃度	0.12 mg/m ³
	0.1 ppm
許容濃度 上限	0.24 mg/m ³
	0.2 ppm
特記事項 (JP)	発がん性分類 2A; 感作性分類 気道 2; 感作性分類 皮膚 1
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する、防爆に関する条例を守る。

保護具

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
ガス用フィルター付呼吸用保護具	タイプ A - 高沸点 (>65°C) の有機化合物		EN 14387

手の保護具 : この推奨は実験室条件下における化学的適合性および EN 374 準拠テストにのみ基づく、適用次第では異なる要件が生ずる。そのため、保護手袋納入業者の推奨を更に配慮すること、Pls. find examples in the protective gloves database under: <http://bestglove.com/site/chemrest/>

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
耐化学薬品手袋	ブチルゴム	6 (> 480 分)	≥ 0.7		EN ISO 374

眼の保護具 : きれいな水と洗眼ボトル (EN 15154)

タイプ	適用分野	特徴	規格
防護眼鏡 (EN 166)	液体が飛散する可能性がある		EN 166

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1166

タイプ	規格
長袖防護服	EN ISO 6530
化学的な製品に抵抗力のあるエプロン	EN 467

環境へのばく露の制限と監視

: 環境への放出を避けること。

その他の情報

: 蒸気を吸入しない、休憩に入る前および作業後は手を洗う、この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。、汚れた衣類は取り除き、再使用前に洗浄してください、皮膚、眼、あるいは衣服との接触を避ける。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

: 液体

色

: 濃褐色

臭い

: フェノール

pH

: 未確定

融点

: データなし

凝固点

: データなし

沸点

: 100 - 200 ° C

引火点

: 78 ° C DIN EN ISO 2719

自然発火点

: 315 ° C 溶剤

分解温度

: > 110 ° C

可燃性

: 非該当

蒸気圧

: 約 1.4 hPa 溶剤

相対密度

: データなし

密度

: 1.221 g/cm³

相対ガス密度

: データなし

溶解度

: 部分的に可溶。20° C で。

Log Pow

: データなし

爆発特性

: 物質は爆発性ではない。引火性/爆発性蒸気-空気混合物を形成することがある。

爆発限界 (vol %)

: データなし

爆発限界 下限 (LEL)

: 2.1 vol %

爆発限界 上限 (UEL)

: 19.3 vol %

酸化特性

: 非酸化

粘性率

: 125 - 165 mPa·s @ 23° C , ISO 3219

動粘性率

: データなし

VOC 含有量

: < 30 %

粒子特性

: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

: 指定通り保管し使用する限り分解しない。

化学的安定性

: 通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性

: 強酸。

避けるべき条件

: 熱分解を回避するため、強く加熱しない。蒸気/空気混合物は急激に加熱すると爆発性である。加熱により発火性蒸気が放出するおそれがある。

混触危険物質

: 酸。

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1166

危険有害な分解生成物 : 危険有害な分解生成物は知られていない。熱分解により次のものを生成する：刺激性/腐食性、可燃性かつ有毒な乾留ガス。炭素酸化物(CO、CO₂)。

11. 有害性情報

潜在的な健康有害性及び症状 : 注意、泡の誤嚥の危険
急性毒性 (経口) : 飲み込むと有毒
急性毒性 (経皮) : 皮膚に接触すると有害
急性毒性 (吸入) : 吸入すると有害

Asplit® CN Solution	
ATE JP (経口)	100 mg/kg BW
ATE JP (経皮)	1100 mg/kg BW
ATE JP (ガス)	4500 ppmv/4h
ATE JP (蒸気)	11 mg/l/4h
ATE JP (粉じん、ミスト)	1.5 mg/l/4h

皮膚腐食性/刺激性 : 重篤な皮膚の薬傷
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 重篤な眼の損傷
呼吸器感作性 : データなし
皮膚感作性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
生殖細胞変異原性 : 遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性 : 発がんのおそれ
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 呼吸器への刺激のおそれ。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし
誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : データなし
水生環境有害性(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害

残留性・分解性

Asplit® CN Solution	
残留性・分解性	データなし。

生体蓄積性

Asplit® CN Solution	
生体蓄積性	データなし。

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1166

土壤中の移動性

Asplit® CN Solution	
土壤中の移動性	データなし
生態系 - 土壌	データなし。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

その他の有害な影響

その他の情報 : 表層水、または下水に流さない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 未洗浄の空のコンテナは、内容物と同等に取り扱う。
汚染された包装は完全に空にし、適切な洗浄処理をした後で再使用可能。
洗浄不可能な包装は内容物と同様に廃棄すること。

廃棄方法 : 現行のローカルな法規に従って、焼却することが可能である。
廃棄より再生利用（リサイクリング）を優先する。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDG / IMDG / IATA / ADN / RID / ADRに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
2927	2927	2927
国連正式品名		
その他の毒物（有機物）（液体）（腐食性のも）（2-フランカルボアルデヒド；フェノール）	TOXIC LIQUID, CORROSIVE, ORGANIC, N.O.S. (Phenol)	Toxic liquid, corrosive, organic, n.o.s. (Phenol)
輸送危険物分類		
6.1 (8)	6.1 (8)	6.1 (8)
容器等級		
II	II	II
環境有害性		
環境有害性：非該当	環境有害性：非該当	環境有害性：非該当

海洋汚染物質 : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1166

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 優先評価化学物質 (法第2条第5項)

労働安全衛生法 : 特定化学物質第3類物質 (特定化学物質障害予防規則第2条第1項第6号)

適用条件:
含有する製剤その他の物。ただし、含有量が重量の5%以下のものを除く。(特化則別表第2)

作業環境評価基準 (法第65条の2第1項)
名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)

適用条件:
0. 1重量%以上を含有する製剤その他の物 (安衛則第30条・別表第2)。運搬・貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない物であって、令別表第一に掲げる危険物、可燃性の物等爆発又は火災の原因となるおそれのある物並びに皮膚に対して腐食の危険を生じるものでないものを除く。
0. 1重量%以上を含有する製剤その他の物 (安衛則第30条・別表第2)
危険物・引火性の物 (施行令別表第1第4号)
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)
ホルムアルデヒド (政令番号: 548) (5%未満)
フェノール (政令番号: 474) (1 ~ 10%)

適用条件:
0. 1重量%以上を含有する製剤その他の物 (施行令第18条の2第2号、安衛則第34条の2別表第2)
腐食性液体 (労働安全衛生規則第326条)
特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質 (令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧)

適用条件:
・四アルキル鉛中毒予防規則第2条又は第4条から第12条、若しくは特定化学物質障害予防規則第22条、第22条の2、第38条の19、第44条、第47条、第50条又は第50条の2の規定において、作業又は業務に関して、不浸透性の保護衣等の使用が義務付けられているもの
・含有量が5重量%以下のものを除く。

毒物及び劇物取締法 : 劇物 (指定令第2条)
フェノールを含有する製剤 (1 ~ 10%)

適用条件:
製剤。5%以下を含有するものを除く

水質汚濁防止法 : 指定物質 (法第2条第4項、施行令第3条の3)
生活環境汚染項目 (法第2条、施行令第3条、排水基準を定める省令第1条別表第2)

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1166

消防法	: 指定可燃物、可燃性固体類（法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4） 適用条件: 固体で次のイ、ハ又はニのいずれかに該当するもの（1気圧において、温度20℃を超え、40℃以下の間において液状となるもので、次のロ、ハ又はニのいずれかに該当するものを含む）イ. 引火点が40℃以上100℃未満のもの、ロ. 引火点が70℃以上100℃未満のもの、ハ. 引火点が100℃以上200℃未満で、かつ、燃焼熱量が34kJ（キロジュール）/g以上のもの、ニ. 引火点が200℃以上で、かつ、燃焼熱量が34kJ（キロジュール）/g以上で、融点が100℃未満のもの（危険物令別表4備考5）
大気汚染防止法	: 特定物質（法第17条第1項、施行令第10条） 適用条件: 排気 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第9次答申） 適用条件: 排気 有害大気汚染物質、優先取組物質（中央環境審議会第9次答申） 適用条件: 排気 有害大気汚染物質・自主管理指针对象物質（平成8年10月18日環大規第205号、令和4年10月18日環水大大発第2210181号） 適用条件: 排気 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） 適用条件: 排気
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1） 適用条件: 濃度が45重量%以下のものに限る。
外国為替及び外国貿易法	: 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」（廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】0.1重量%以上含む物 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認） 適用条件: （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】0.1重量%以上含む物
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2） 適用条件: 含製剤（5%以下を含有するものを除く）、液体
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	: 特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号） 適用条件: 0.1重量%以上含む物
水道法	: 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）
下水道法	: 水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）

安全データシート

Asplit® CN Solution

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1166

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1) フェノール (管理番号 : 349) (6.0%) 適用条件: ・含有する製品は、第 1 種指定化学物質質量の割合が 1 質量%以上であって、次の各号のいずれにも該当しないもの。(施行令第 5 条) 1 事業者による取扱いの過程において固体以外の状態にならず、かつ、粉状又は粒状にならない製品 2 第 1 種指定化学物質が密封された状態で取り扱われる製品 3 主として一般消費者の生活の用に供される製品 4 資源の有効な利用の促進に関する法律第 2 条第 4 項に規定する再生資源 第 1 種指定化学物質、特定第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1、施行令第 4 条) ホルムアルデヒド (管理番号 : 411) (0.9%) 適用条件: ・含有する製品は、特定第 1 種指定化学物質質量の割合が 0.1 質量%以上であって、次の各号のいずれにも該当しないもの。(施行令第 5 条) 1 事業者による取扱いの過程において固体以外の状態にならず、かつ、粉状又は粒状にならない製品 2 第 1 種指定化学物質が密封された状態で取り扱われる製品 3 主として一般消費者の生活の用に供される製品 4 資源の有効な利用の促進に関する法律第 2 条第 4 項に規定する再生資源
労働基準法	: 疾病化学物質 (法第 7 5 条第 2 項、施行規則第 3 5 条別表第 1 の 2 第 4 号 1)
建築基準法	: 化学物質の建築材料への使用規制 (法第 2 8 条の 2 の 3、施行令第 2 0 条の 5)

16. その他の情報

その他の情報	: 4～8 項および 10～12 項の記述は一部、製品の使用および指定通りの適用に関するものではなく(製品説明書・使用説明書を参照)、事故や異常事態で大量放出が発生した場合に該当する。記述内容は製品の安全要求だけに限定し、現時点での知見に基づいている。出荷仕様は製品のデータシートを参照のこと。データシートに記述された特性内容は法律上の保証規定を保証するものではない。
--------	--

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。